

教員資格及び教育内容等の自己評価書
聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部理学療法学科

2023年10月

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
リハビリテーション学部 理学療法学科	6人	3人	0人	3人	12人	8人	11人	0人	49人	16.1人	
計	6人	3人	0人	3人	12人	8人	11人	0人	人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	聖隷の理念と 歴史	15	入江拓、大場義貴、内山 敏、栗田洋平	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	キリスト教概 論	15	永井英司	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	キリスト教の 歴史	8	永井英司	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	哲学	15	長田怜	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	文学	15	福重浩之	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	心理学	15	長峰伸治	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	倫理学	15	長田怜	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	ジェンダー論	15	須藤八千代	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	生活福祉文化 論	15	坂本道子	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	レクリエーシ ョン概論	15	和久田佳代	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	音楽	15	二宮貴之	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	健康スポーツ 論	8	安田智洋	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	健康スポーツ 実践	15	安田智洋	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	スポーツ I	15	安田智洋	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	スポーツ II	15	大村千春	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	法学	15	伊夢瑛	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	日本国憲法	15	伊夢瑛、山岸敬子	兼任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	経済学	15	白春騷	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	教育学	15	太田知実	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	社会学	15	馬場孝	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	現代コミュニ ティ論	15	下澤嶽	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	生物学	15	熊澤武志	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	基礎化学	8	大場浩	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	基礎物理学	8	津森伸一	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	統計学・疫学 概論	15	西川浩昭、隆朋也	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	社会福祉原論	15	川向雅弘	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	基礎演習	15	新宮尚人、津森伸一、飯田 妙子、鈴木達也、矢倉千 昭、佐藤豊展、佐藤綾華	専任・兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	発達心理学	15	松下恵美子	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	日本語表現法	15	福重浩之	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	情報処理	15	津森伸一、隆朋也	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	データサイエ ンス入門	15	隆朋也、津森伸一	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	保健医療福祉 倫理学	8	伊藤信寿、泉良太、矢倉千 昭	専任・兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	キャリアデザ イン	8	金原一宏、佐野哲也、佐藤 豊展	専任・兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	英語 I	15	パターソン・ドナルド、ク ラモト・クリスティーン、 渥美陽子、ディニコラ・ア ン、アキオマ・ミリアン、 ウィリアム・シーン・ギブ	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	英語 II	15	パターソン・ドナルド、ク ラモト・クリスティーン、 渥美陽子、ディニコラ・ア ン、アキオマ・ミリアン、 ウィリアム・シーン・ギブ	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	入門リハビリ テーション英 語(英語Ⅲ)	15	クラモト・クリスティー ン、渥美陽子	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	英語Ⅳ	15	渥美陽子、パターソン・ド ナルド	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	英語Ⅴ	15	パターソン・ドナルド	兼任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	中国語	15	方健	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	外国語	15	矢倉千昭	専任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	海外研修	15	パターソン・ドナルド、渥 美陽子、倉本・クリスティ ーン、二宮貴之、落合克 能、鈴木達也	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	ブラジル文化 と言語	15	アキオマ・ミリアン	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	現代の国際社 会	15	馬場孝	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	文化人類学	15	佐藤弘明	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	国際支援入門	8	柴本勇	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	国際支援論	8	下澤嶽	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	国際支援アク ティブラーニ ングⅠ	15	柴本勇、木村暢男、水野尚 美、高橋大生	専任・兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	国際支援アク ティブラーニ ングⅡ	15	柴本勇、内藤智義、鈴木光 男、大原重洋	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	地域ケア連携 の基礎	8	清水隆裕、早川ゆかり、篠 崎義勝、福重浩之、矢部広 樹、佐藤綾華、(根地嶋 誠)、(泉良太)、	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	地域実践アク ティブラーニ ングⅠ	15	矢倉千昭、黒野智子、氏原 恵子、山崎淑恵、江口晶 子、佐藤順子、佐々木正 和、大場義貴、	専任・兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	地域実践アク ティブラーニ ングⅡ	15	矢倉千昭、黒野智子、氏原 恵子、山崎淑恵、江口晶 子、佐藤順子、佐々木正 和、大場義貴、	専任・兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	地域実践アク ティブラーニ ングⅢ	15	矢倉千昭、黒野智子、氏原 恵子、山崎淑恵、江口晶 子、佐藤順子、佐々木正 和、大場義貴、	専任・兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	ボランティア 論	8	福田俊子	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	ボランティア演 習	15	太田知実、坂本道子、栗田 洋平	兼任
基礎	科学的思考の基盤・人間 と生活・社会の理解	大学間交流授 業	15	矢倉千昭	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学	15	顧寿智	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心 身の発達	運動器解剖学	15	顧寿智	兼任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	神経解剖学	15	顧寿智	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人体機能学(動物性機能)	15	大林雅春	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人体機能学(植物性機能)	15	大林雅春	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅰ	15	根地嶋誠、佐野哲也	専任・兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅱ	15	根地嶋誠、矢倉千昭、矢部広樹、佐野哲也、津森伸一	専任・兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学演習	15	田中なつみ、矢部広樹、高橋大生、高山真希	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人間発達学	15	伊藤信寿、吉本好延、大原重洋	専任・兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学概論Ⅰ	8	大林雅春	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学概論Ⅱ	8	大林雅春	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	15	高柳弘行	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学・医療学概論	8	佐藤豊展、矢倉千昭、伊藤信寿、柴本勇、片桐伯真	専任・兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科系医療学	15	矢部広樹、高橋大生、岡俊明、横村光司、松島秀樹、北川哲司、志智大介、長澤正通	専任・兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科系医療学	15	佐々木寛二、阿部真行、神田俊浩、塩崎太郎、滝正徳、三宅央哲、野坂潮、遠藤浩一、	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経内科系医療学	15	大橋寿彦、内山剛、佐藤慶史郎	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学系医療学Ⅰ	8	新宮尚人、藤田さより、山岡功一、三浦一也	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科系医療学Ⅰ	8	白井憲司、松下博亮、南野初香、吉村歩、今市悠太郎、	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科系医療学Ⅱ	8	白井憲司、松下博亮、南野初香、村上知隆、板野重弓、荻田薫	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション栄養学	8	柴本勇、高山真希	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	8	西川浩昭	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	摂食嚥下障害学概論	15	佐藤豊展、柴本勇、佐久間佐織	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	薬理・薬剤	15	梅村和夫、外村和也	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	カウンセリング	15	高柳弘行	兼任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテー ション概論	8	新宮尚人、有菌信一、伊藤 信寿、谷哲夫、木村暢男、 大場義貴	専任・兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテー ション医療・ 医学Ⅰ	8	片桐伯真、藤島一郎	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテー ション医療・ 医学Ⅱ	8	片桐伯真、藤島一郎、井上 善也	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテー ション職種間 連携の基礎	8	大原重洋、矢倉千昭、高橋 大生、栗田洋平、伊藤信 寿、佐藤綾華	専任・兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	地域ケア連携 演習	15	福田俊子、室加千佳、氏原 恵子、木村暢男、宮谷恵、 大場義貴、坂本道子	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	国際リハビリ テーション援 助論	15	高橋大生、柴本勇、根地嶋 誠	専任・兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	国際リハビリ テーション研 修	15	鈴木達也、高橋大生、根地 嶋誠	専任・兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	国際コミュニ ケーション演 習	15	鈴木達也、高橋大生、モー テン	専任・兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	国際保健医療 福祉論	15	根地嶋誠、江口晶子、小畑 美徳、佐々木正和	専任・兼任
専門	基礎理学療法学	理学療法概論	15	高山真希、有菌信一、金原 一宏、吉本好延、俵祐一、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生	専任
専門	基礎理学療法学	基礎理学療法 学	15	俵祐一、金原一宏、高橋大 生、高山真希、田中なつみ	専任
専門	基礎理学療法学	理学療法研究 の理論	15	金原一宏、有菌信一、矢倉 千昭、吉本好延、俵祐一、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生	専任
専門	基礎理学療法学	理学療法研究 の実践	60	有菌信一、金原一宏、矢倉 千昭、吉本好延、俵祐一、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生	専任
専門	理学療法管理学	理学療法教育 マネジメント 論	15	田中なつみ、有菌信一、大 城昌平、金原一宏、矢倉千 昭、吉本好延、俵祐一、根 地嶋誠	専任
専門	理学療法評価学	理学療法診断 学概論	15	俵祐一、吉本好延、根地嶋 誠、矢部広樹、高橋大生	専任
専門	理学療法評価学	理学療法診断 技術学	15	田中なつみ、矢部広樹、高 山真希、有菌信一、金原一 宏、矢倉千昭、吉本好延、 俵祐一	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
専門	理学療法評価学	神経系理学療法評価学	15	吉本好延、矢倉千昭、金原一宏、俵祐一、根地嶋誠、矢部広樹、高橋大生、高山真希	専任
専門	理学療法評価学	内部障害系理学療法評価学	15	俵祐一、有菌信一、矢部広樹、金原一宏、矢倉千昭、吉本好延、根地嶋誠、高橋大生	専任
専門	理学療法評価学	運動器系理学療法評価学	15	根地嶋誠、高山真希、金原一宏、矢倉千昭、吉本好延、俵祐一、矢部広樹、高橋大生	専任
専門	理学療法評価学	理学療法検査測定演習	15	矢部広樹、有菌信一、金原一宏、矢倉千昭、吉本好延、俵祐一、根地嶋誠、高橋大生	専任
専門	理学療法評価学	理学療法評価演習	15	高橋大生、有菌信一、金原一宏、矢倉千昭、吉本好延、俵祐一、根地嶋誠、矢部広樹	専任
専門	理学療法治療学	基礎理学療法治療学	15	有菌信一、金原一宏、高橋大生、高山真希、田中なつみ	専任
専門	理学療法治療学	小児理学療法学	15	矢倉千昭、伊藤信寿、大城昌平	専任
専門	理学療法治療学	神経系理学療法治療学	30	吉本好延、矢倉千昭、俵祐一	専任
専門	理学療法治療学	内部障害系理学療法治療学	30	有菌信一、俵祐一、矢部広樹	専任
専門	理学療法治療学	運動器系理学療法治療学	30	根地嶋誠、高山真希	専任
専門	理学療法治療学	物理療法学の理論	15	金原一宏、田中なつみ	専任
専門	理学療法治療学	物理療法学の実践	15	金原一宏、根地嶋誠、高橋大生、高山真希、田中なつみ	専任
専門	理学療法治療学	日常生活活動学の理論	15	矢部広樹、有菌信一、金原一宏、矢倉千昭、吉本好延、俵祐一、根地嶋誠、高橋大生	専任
専門	理学療法治療学	日常生活活動学の実践	15	高山真希、吉本好延、矢部広樹	専任
専門	理学療法治療学	機能代償機器学の理論	15	高橋大生、矢倉千昭	専任
専門	理学療法治療学	機能代償機器学の実践	15	高橋大生、矢倉千昭	専任
専門	理学療法治療学	理学療法治療演習	15	高山真希、有菌信一、金原一宏、矢倉千昭、吉本好延、俵祐一、根地嶋誠、矢部広樹	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
専門	理学療法治療学	理学療法学総 合演習	15	吉本好延、有菌信一、金原 一宏、矢倉千昭、俵祐一、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生	専任
専門	理学療法治療学	スポーツ理学 療法学	8	根地嶋誠	専任
専門	理学療法治療学	發展的理学療 法学	8	矢部広樹	専任
専門	地域理学療法学	地域理学療法 学の理論	15	矢倉千昭、根地嶋誠	専任
専門	地域理学療法学	地域理学療法 学の実践	15	矢倉千昭、根地嶋誠、高山 真希	専任
専門	地域理学療法学	臨床理学療法 見学実習	45	矢倉千昭	専任
専門	臨床実習	臨床理学療法 検査測定実習	45	田中なつみ、有菌信一、金 原一宏、矢倉千昭、吉本好 延、俵祐一、根地嶋誠、矢 部広樹、	専任
専門	臨床実習	臨床理学療法 生活支援実習	45	高山真希、有菌信一、金原 一宏、矢倉千昭、吉本好 延、俵祐一、根地嶋誠、矢 部広樹、	専任
専門	臨床実習	臨床理学療法 評価実習Ⅰ	90	吉本好延、有菌信一、金原 一宏、矢倉千昭、俵祐一、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生、	専任
専門	臨床実習	臨床理学療法 評価実習Ⅱ	180	根地嶋誠、有菌信一、金原 一宏、矢倉千昭、吉本好 延、俵祐一、矢部広樹、高 橋大生、	専任
専門	臨床実習	臨床理学療法 総合実習技能 評価	45	吉本好延、有菌信一、金原 一宏、矢倉千昭、俵祐一、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生、	専任
専門	臨床実習	臨床理学療法 総合実習Ⅰ	270	金原一宏、有菌信一、矢倉 千昭、吉本好延、俵祐一、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生、	専任
専門	臨床実習	臨床理学療法 総合実習Ⅱ	270	俵祐一、有菌信一、金原一 宏、矢倉千昭、吉本好延、 根地嶋誠、矢部広樹、高橋 大生、	専任
専門	地域理学療法学	国際理学療法 実習	90	高橋大生、有菌信一、金原 一宏	専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床理学療法見学実習	1年前期	リハビリテーション概論	1年前期
		理学療法概論	1年前期
臨床理学療法検査測定実習	2年前期	理学療法診断技術学	2年前期
		理学療法検査測定演習	2年前期
臨床理学療法生活支援実習	2年後期	日常生活活動学の理論	2年後期
		日常生活活動学の実践	3年前期
臨床理学療法評価実習Ⅰ	3年前期	運動器系理学療法評価学	2年後期
		神経系理学療法評価学	2年後期
		内部障害系理学療法評価学	2年後期
臨床理学療法評価実習Ⅱ	3年後期	理学療法評価演習	3年前期
臨床理学療法総合実習Ⅰ	4年前期	運動器系理学療法治療学	3年前期
		神経系理学療法治療学	3年前期
		内部障害系理学療法治療学	3年前期
		機能代償機器学の実践	3年後期
		地域理学療法学の実践	3年後期
臨床理学療法総合実習Ⅱ	4年前期	運動器系理学療法治療学	3年前期
		神経系理学療法治療学	3年前期
		内部障害系理学療法治療学	3年前期
		機能代償機器学の実践	3年後期
		地域理学療法学の実践	3年後期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	リハビリテーション学部自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	吉本好延（委員長）、新宮尚人、有菌信一、伊藤信寿、谷哲夫、柴本勇、泉良太、津森伸一、藤田さより、鈴木達也
組織の開催頻度	1年に3回
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・研究活動の目標の到達度の点検・評価と目標の見直しの検討 ・学生による授業評価の実施と結果のフィードバック（教務委員会） ・教育改善のための研修会の実施（FD委員会）
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： https://www.seirei.ac.jp/about/disclosure/self-check/#277af945 ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	シラバス作成要領の見直し、及びシラバス点検
	委員構成等	教授会、教務運営会議構成員
	改善の仕組みの実際	シラバス作成要領を毎年教務運営会議で見直し、教授会で確認している。シラバスは毎年作成時シラバスチェックシートを用いて教務委員、学科長が確認を行い、適宜修正を依頼してシラバス内容改善に努めている。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

2017年3月、財団法人大学基準協会の行う大学認証評価において、本学が大学評価の基準に適合していると
の認定を受けた (<https://www.seirei.ac.jp/media/juaa.pdf>)。

また、2019年3月、一般社団法人リハビリテーション教育評価機構が行う教育評価認定審査において、機構
が定める評価基準を満たし、リハビリテーション教育に必要な施設基準およびカリキュラムを提供する優れた
養成施設であると認定を受けた (https://www.seirei.ac.jp/media/jcore_pt.pdf)。

点検・評価の結果は、学科長および各担当部門で周知され、必要に応じて対策が検討されている。また、学部
の点検・評価の結果は、全学の自己点検・評価委員会にも報告され、大学全体で問題点を共有した後、必要に
応じてシステムの見直しが検討されている。